



学校図書館実践事例集

本と子どもをつなぐ学校図書館 ～那覇市立鏡原中学校～



児童生徒が気軽に 訪れる図書館づくり



本が好きな子にもそうでない子にも図書館に行けば何か楽しいことがある！と思わせるような取組みを紹介します。

1 イベントの企画・実施



■イベントを実施することで「図書館は楽しいところ!」を演出する

読書旬間、読書週間、読書月間など、各学校でもさまざまな図書館イベントを実施していると思いますが、ここでは各学校のアイデアを紹介します。

クジ引き

司書が前もって本に予約を入れておき、その本を借りた人はクジ引きができます。景品は、雑誌の付録、1冊おまけ券、館内本貸出券、しおりなどです。

書き出し小説

「書き出し小説」とは、小説の一文目を創作するもので、図書委員会が選考と表彰を行います。作品は図書館だよりに載せた後、生徒が読めるように図書館にまとめて置いています。

40冊達成・全分類読破

その1 オリジナル利用カードを手に入れよう!

条件▶ 40冊達成 & 全分類読破

両方達成したら、図書委員から引換券が貰えます。図書館の黒板にあるオリジナル利用カードを選び、引換券と一緒に図書へ渡してください。以下は見本の一部です。



※著作権フリーの画像を使用しています。

感想を書いたら好きな画像を印刷する件

図書館システム Library の機能「感想を読む・書く」を利用した取組み

- 1 感想を書きたい本を図書館のPCで検索する。
- 2 評価を選ぶ。(おもしろい、かなしいなど)
- 3 利用カードの番号を打つ。
- 4 感想を書く。

児童生徒と本との 「であい」をつくる



9類に偏りがちな本の貸出し
…そこで子どもたちにより多
くの本に触れてもらうための
取組みについて紹介します。

1 図書館の書架レイアウトの工夫



■書棚にどんな種類の本が並んでいるのか興味をもたせる

多くの図書館では日本十進分類法(NDC)のもと資料を分類し排架しています。そして、多くの学校において、児童生徒に分類法について理解してもらうための機会を設けています。ここでは、その取組みについて紹介します。



差し込み表示の工夫

分類ごとに色を分けていま
す。さらに本を探しやすいよう
に差し込み表示にキーワード
を表示しています。
例えば7類「スポーツ」の書
架は、さらに細かく「サッカ
ー」「ソフトボール」…と表示
しています。



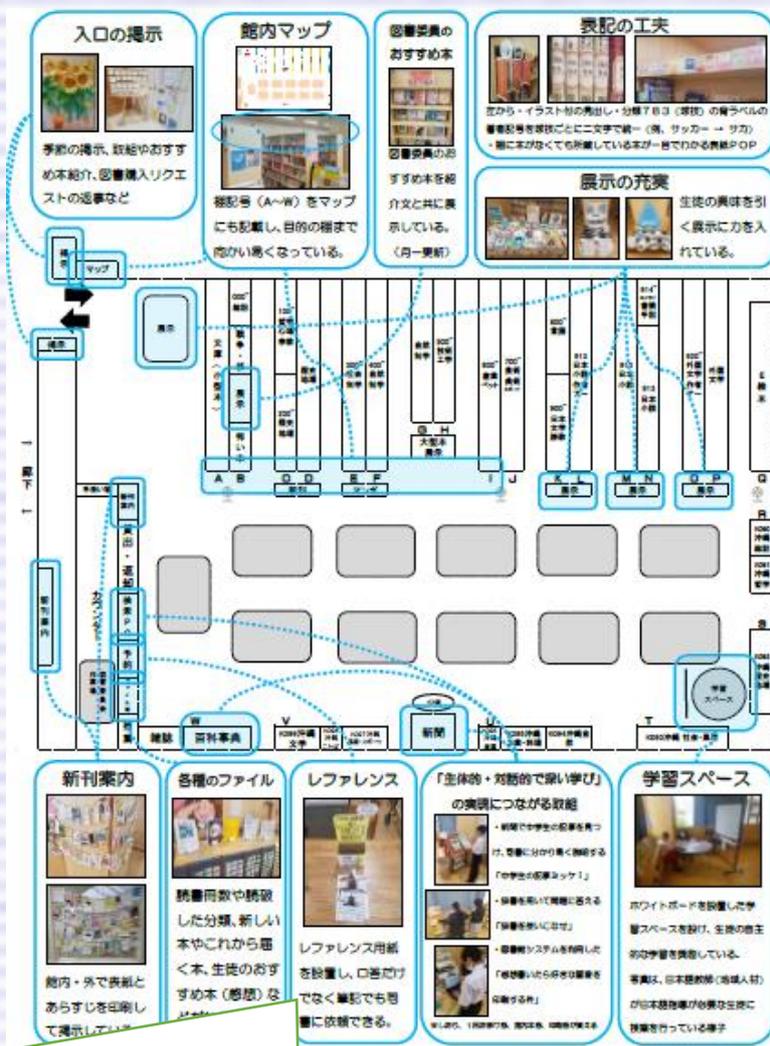
館内マップの設置



館内マップを作成し、設置し
ました。マップには、分類を色ご
とに示し、棚番号(アルファベッ
ト)も表記しています。
生徒は、目的の棚まで向かい
やすくなりました。



図書館の様子



カウンターには

◇各種ファイル

読書冊数や読破した分類、新しい本やこれから届く本、生徒のおすすめ本(感想)などがわかる。

◇レファレンス

レファレンス用紙を設置し、口頭だけでなく筆記でも司書に依頼できる。

各種ファイル



2 コーナー等の設置



■「学び」の広がりや深まりを支援する

読書を推進するためのコーナーの設置や、学びの基礎を支援したり、発展させたりするようなさまざまなコーナーを設置している例を紹介します。



辞書(事典)の活用を促すイベント

「辞書を使いこなせ」

- ①司書が辞典や調べ学習用の本などから問題を作り、問題用紙を作成する。
 - ②生徒は用意された本を用いて、問題に答える。
 - ③10問全問正解で館内本貸出券、5問以上の正解で1冊おまけ券がもらえる。
- ※月更新なので月1回限定。

新聞を読む「中学生の記事 ミッケ！」

(新聞を排架している場所に掲示)

- ①新聞から「中学生の記事」を見つける。
 - ②見つけた記事を読み、司書にわかりやすく内容を説明する。
 - ③しおりか1冊おまけ券がもらえる。
- ※1日1回限定。



3 ひと味ちがう「本の紹介」例



■近隣校との連携

鏡原中学校図書館は、近隣の小祿中学校図書館と金城中学校図書館と連携して、「おすすめ本」を紹介しあっています。（良いと思ったおすすめ本紹介に生徒がスタンプを押します。）



■教員も参加して競う「おすすめ本 POP 投票」

読書月間の取組みの一環です。教員も参加して競い、投票を行います。そして、後日、ポプラ社の全国学校図書館 POP コンテストに応募します。



4 地域人材を活用する



■高校生、保護者、地域ボランティアによる「読み聞かせ」「落語会」

高校生（小祿高校1～3年生）、保護者、地域ボランティアによる「読み聞かせ」「落語会」は、学校経営方針にある「社会に開かれた教育課程」の充実につながっています。



5 掲示物等の工夫



■季節感のある掲示 図書館だよりの発行

学校図書館の取組みや新刊の紹介など、図書館だよりにや掲示物をとおして情報発信を行うことはとても大切です。各学校のさまざまな方法を紹介します。



季節感のある入口の装飾・目を引くデザインの表示

図書館だよりの13

2021年が始まりました。みなさんの今年の目標は何でしょうか。本の最終貸出日まで残り1か月ほどです。読書目標の「40冊」と「全分類読破」も達成できるようにがんばりましょうね。ちなみに読書の目標は「楽書に生きる」です。それで、HERE WE GO!

*** 最終貸出日が決まりました ***

- 1, 2年生 2/26 (金) ※最終返却日は3/5 (金)
- 3年生 2/12 (金) ※最終返却日は2月末日

*** 新しい本が入りました ***

新刊紹介 読みたくなる紹介文の工夫

図書館だよりの12

今年も残りわずかですね。みなさん、お元気でしょうか。今日は読書月間特別号です。表面には朗読会と落語会の感想を、裏面には面白かった書き出し小説をたくさん載せています。それでは、さっそく Here we go!!

*** 読書月間の結果発表 ***

多読学級賞 & 全分類読破学級賞

快挙! 女子7受賞!! 3年5組さん

冊数717冊、全分類読破2人

Greedy!

朗読会① 芥川龍之介『蜘蛛の糸』

朗読会② 『転々(てんてん)』

企画が多様なので、読み応えがあります

※ 図書館だよりは、鏡原中学校 HP にアップしていますので、そちらもご覧ください。

鏡原中学校図書館では、搬送システムを活用して、他校図書館や公共図書館から質の良い資料を集め、調べ学習や探求的な学習に活用しています。その他にも生徒が司書にレファレンスを依頼する機会を設けているので、自主学習を深めるなど、学習センターとしての機能も十分に発揮しています。また、読書月間では、地域人材や近隣の高校と連携した「読み聞かせ」や保護者による「落語会」を開催し、学校経営方針にある「社会に開かれた教育課程」の充実につながっています。